

# 1. 調査報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成20年4月7日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2770108013
法人名	社会福祉法人 そうび会
事業所名	つるぎ荘・やしもグループホーム
所在地	堺市東区石原町三丁150番地 (電話) 072-240-3378
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 3月 14日

## 【情報提供票より】(平成 20年 2月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 7月 1日
ユニット数	2ユニット 利用定員数計 18人
職員数	16人 常勤 13人, 非常勤 3人, 常勤換算 8人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2階建ての 1階 ~ 1階部分

### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000円	その他の経費(月額)	26,000円	
敷金	有( 円) ②			
保証金の有無 (入居一時金含む)	① (200,000円) 無	有りの場合 償却の有無	① / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,400円			

### (4) 利用者の概要 (平成 20年 2月 1日現在)

利用者人数	18名	男性	6名	女性	12名
要介護1	5名	要介護2	5名		
要介護3	5名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 82.2歳	最低	64歳	最高	92歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医) まごころ会豊川病院、(医) 錦秀会阪和第2泉北病院、阪和病院、阪和記念病院、阪和住吉総合病院、(医) 佳晴会きたのだ歯科
---------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会福祉法人が運営する『つるぎ荘やしも地域サポートセンター』として開設されたグループホームです。「お年寄りにいたわりの心」を基本理念として、施設長の在宅介護サービスの経験を活かし、地域に根ざしたホームが実現しています。田園の中にある自然環境に恵まれたホームで、2ユニット共に1階にあり、洗濯物干しや、菜園での野菜作りや草花の手入れ、植木の水やりなど土に触れながらの生活を送れるように支援しています。食事は献立から利用者と共に考え、スーパーへ食材を買いに行き、職員も利用者からさまざまなことを教えてもらっています。居室は和洋室があり、各部屋にはトイレ、洗面所があり、プライバシーへの配慮もなされています。精神的に不安定な時も、近隣の専門医との連携をとり、適切に対応しています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 外部評価の結果を受け、改善に向けて取り組んでいます。介護計画の見直しについては、モニタリングのわかりやすいチェック表作りに取り組んでいます。安全面を配慮しながらの開錠についても検討を重ねています。研修については年間計画を立て、特に認知症についての研修が予定されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価については、管理者、各ユニットの計画作成担当者が協議し、作成しています。また全職員は評価の意義について認識しています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議では、グループホームでの生活の様子、行事予定、地域の行事予定、家族会の設立、感染症予防、堺市のグループホーム利用者状況等について報告や討議をしています。会議の中で災害対策として、隣接の中学校に備蓄があることを地域の方から話がありました。高齢者クラブ連絡会よりボランティアが来訪し、舞踏、大正琴、書道、詩吟などを披露してもらっています。また利用者は地域の収穫祭に参加するなど、地域との交流があります。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 苦情、相談にはいつでも応じており、意見箱も設置しています。家族の訪問時にも相談に応じています。家族会については、多くの家族の賛成意見のもと、結成に向けて取り組んでいます。5月は春の遠足、9月は敬老祝賀会などを計画中しており、家族へ参加を呼びかけています。運営推進会議には家族の参加も得ており、意見を聞く機会を設けています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の自治会に加入しています。また地域の「花咲かせ隊」に協力し、利用者も一緒に活動しています。「収穫祭」「文化祭」にはポスターを貼って協力したり、地域のふれあい喫茶に月1回参加したり、自治会主催の納涼会や懐かしの映画会に参加したりして、地域の一員として溶け込んでいます。

## 2. 調 査 報 告 書

(          部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「お年寄りにいたわりの心を」を法人の理念として掲げ、基本方針として「自立支援」を念頭に、地域に溶け込んだホーム作りを目指しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化され、ホーム内に掲示し、パンフレットにも載せています。職員には日々の業務の中で確認し、新任研修の時にも説明・周知しています。毎年3月には、全職員を対象に理念を共有するための研修を実施しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	地域の自治会に加入しています。校区隣の中学校から毎年6名ずつ職場体験の受け入れをしています。福祉委員会が開催する自治会館でのふれあい喫茶に月1回参加しています。ホームの様子が掲載されている法人の季刊誌「薔薇」を地域の人に見てもらう機会もあります。自治会の取り組む「花咲かせ隊」に参加して、挨拶を交わしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価の意義や目的を理解し、外部評価結果を職員に説明し、改善に向け取り組んでいます。また、外部評価結果は来訪した家族等が閲覧できるように掲示しています。自己評価については、リーダー2名で作成して全職員とも共有し、検討しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域の代表者や利用者家族、知見者の出席を得て、およそ2、3ヶ月に1回開催し、記録も残しています。運営推進会議を通じて、高齢者クラブとの交流が盛んになり、文化祭に出かけたり、作品を借りてホーム内に展示したりして、利用者の外部との交わりや楽しみを通して、サービスの向上に活かされています。堺市より地域包括支援センターや行政の職員の参加については来年度からという文章が届いていました。運営推進会議の規定、規約の文書化を検討中です。	○	運営推進会議をすすめる上でのルールの作成が求められます。また、年6回程度の開催が求められます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	20年度には、東区の地域包括支援センターの担当職員と認知症高齢者を地域でどう支援していくかについて、共に取り組むための整備体制はできています。また、市への報告等については積極的に行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p><b>○家族等への報告</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者一人ひとりの日常生活の様子や健康状態について、担当者が写真と共にお便りを出しています。法人としての季刊誌「薔薇」も家族に送付しています。グループホームとしての紙面もあり、情報や行事報告、写真などを載せています。金銭管理については、毎月請求書と共に収支報告をしています。また、面会時には日頃の様子を伝えています。職員の異動については4月に季刊誌にて紹介しています。</p>		
8	15	<p><b>○運営に関する家族等意見の反映</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会については昨年家族の賛成が得られ、今年中に開催されることになりました。また、玄関脇に意見箱を設置しています。家族の来訪時には、管理者・計画作成担当者・職員のいずれかが対応するよう心がけています。要望・クレーム受付の書式を整え、意見や要望のあった時には職員全員で検討し、共有しています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は最小限に抑えるように努めています。また、引き継ぎについてはマニュアルを作成し、スムーズに利用者がなじめるように工夫しています。新人職員が着任した際は、便りにて紹介を行っています。法人内での職員異動はありますが、適材適所にと考え利用者本位を重点に配慮しています。認知症の利用者にとってなじみの関係は大切なことで、今後とも異動を最小限にすることが期待されます。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設全体としては、年間計画を立て、12回の研修を行っています。その中で「感染症」、「緊急時の対応」、「認知症」等のほか、認知症実務者研修の受講や、外部研修への参加の働きかけも行っています。20年度には認知症研修を年間4回開催する予定を立てています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	堺市のグループホーム交流会に参加しています。東区にはグループホーム連絡会はありませんが、大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入しています。今後は、東区・美原区にあるグループホームの連絡会を設立予定です。併設しているケアプランセンターと協力して、在宅生活での対応や認知症の介護方法等相談にのっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が安心して入居できるよう、ホームでの生活のリズムをつかめる支援や、馴染みの関係を作っていけるように見学を勧め、何度でも受け入れています。また、併設のデイサービスからの利用者が過半数を超え、馴染のルートもできています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は料理や裁縫を利用者から学んだり、買物の際には良い物の選び方を教えてもらい、共感し、支え合う関係ができています。男性利用者に荷物や道具を運んでもらったり、園芸の指導を受けたりする等、得意分野で役割を果たしてもらい、共に助け合っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の関わりの中で知り得た事を大切に、利用者の意向の把握に努めています。日々のユニット会議の中で検討し、希望を生かせるよう努力しています。朝刊、夕刊を読んで経済を学んでいる方、料理の味付け、野菜の切り方、縫い物、嗜好品のこと等、利用者が楽しんでもらえるような支援を心がけています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全体会議に職員が参加して介護計画を作成しています。本人や家族の意見を取り入れて反映させています。また、アセスメントシートを作成し、本人の生活歴やライフスタイルについても記載され、利用者の意向を汲んだ生活を取り入れています。作成した介護計画について、利用者や家族の同意サインを得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は6ヶ月毎に見直しを行い、家族の同意を得ています。目標についてはサービス提供実施チェック表を付けて、計画が効果的に行われているか検討しています。また、日々のユニット会議で利用者の変化を職員が把握して現状に即した対応がとられています。家族には細かな介護計画の変更について口頭で説明していますが、今後は介護計画の変更の都度、家族に交付することが望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	家族や利用者の要望に応じて 通院支援を行っています。また、 同事業所のデイサービスの理 学療法士、作業療法士による機 能訓練の支援があります。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られたかかり つけ医と事業所の関係を築き ながら、適切な医療を受けら れるように支援している	かかりつけ医から継続して医 療が受けられるよう、2ヶ月に 一度の定期診断には職員が付 き添い、日頃の状況を説明し ています。また、緊急時の受診 を支援しています。他に歯科 医や内科医の定期訪問診療も 受けられます。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり 方について、できるだけ早い段 階から本人や家族等ならびに かかりつけ医等と繰り返し話し 合い、全員で方針を共有して いる	重度化や終末期の看取りに関 する指針を設定し、家族にも 了解を得ています。現在では 医療の面で重度化した利用者 を母体の特養へ移送してい ます。併設デイサービスの看 護師を迎え、老衰傾向に関 する勉強会を実施しています。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者が職員に対して勉強会やミーティングを通して伝えていきます。日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけ、誇りやプライバシーには注意を払っています。個人情報保護に関する理解や、秘密保持の徹底が図られています。退職後も秘密保持を義務付けています。利用者の記録等の保管も厳重にしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースを尊重し、急かすことなく支援しています。事業所としての日課はありますが、利用者の意向に合わせた支援をし、見守っています。天気の良い日は庭に出て日向ぼっこをしたり、散歩をしたり、ゆったりと過ごしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事については、昼食は併設のデイサービスの厨房で調理されたものが届き、盛り付けをホームでしています。朝食と夕食は嗜好を献立に取り入れながら、毎日数人の利用者と調理、皿を拭くなどしてにぎやかにしています。食材については、近くのスーパーへ利用者と出かけ、選んでもらっています。職員は利用者と同じ食事を一緒に食べながら見守っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりの身体状態や意向に合わせて支援しています。入浴の回数や時間など、利用者や家族の希望を取り入れています。毎日入浴する方も半数近くおられます。特殊浴槽が必要な方は、デイサービスの浴槽を活用しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の生活に張り合いを持って過ごしていただけるよう、朝は掃除をしたり、庭に出て洗濯物を干したり、菜園での野菜作りや庭の芝生の草取りをしています。書道、歌、頭の体操に取り組むこともあります。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候の良いときは、近くの公園や食材の買い物など毎日出かける機会があります。外出が少ない方でも月に1回はドライブを楽しむ機会を作っています。敷地内で日向ぼっこや、草花への水遣り、日常的に土に触れる生活を支援しています。月に1回自治会館のふれ合い喫茶にも参加して、地域の方との交流をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	門扉や建物の玄関は開錠していますが、グループホームの入り口は安全面を重視し、施錠しています。ユニット間やリビングに面した庭は自由に出入りできます。利用者が外出したいことを察知した際は、一緒に付き添って出かけ閉塞感のないよう配慮しています。	○	利用者への目配りには十分配慮されています。今後は、どのような対応や配慮をすれば安全に「鍵をかけないケア」が行えるのかについて検討し、日中の開錠できる時間帯を少しずつでも設けていくことが求められます。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時のマニュアルは作成しています。消防訓練の実施や避難訓練は、年間計画を立て、実施しています。避難場所となる近隣の中学校にある備蓄状況については教えてもらっています。	○	ホーム内においても、災害用食料や飲水、備品の準備が求められます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの栄養摂取量や水分摂取量を把握しています。また栄養バランスについては、デイサービスの管理栄養士が支援しています。食事は利用者のペースで摂れるよう配慮し、水分摂取についてはこまめに声かけをしています。職員は常に情報を共有しながら対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは広々として採光も明るく、芝生の庭が見渡せ、四季を楽しむことができます。お風呂やトイレ、リビングもバリアフリーとなっており、車椅子対応のトイレも設置しています。玄関にはベンチを置き、廊下には利用者による作品が飾られて季節感もありました。観葉植物やソファもゆったりとくつろげるよう配置されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室からはベランダや芝生の庭が見られて風通しも良く、また利用者が気持ちよく過ごせるように配慮されています。部屋にはトイレや洗面所もついています。利用者は自宅から家具や仏壇、写真、ぬいぐるみ、椅子、敷物等を持ち込み、また自室で電話を使われている方もおられます。希望者には畳の居室も用意されています。それぞれ生活感のある居室になっており居心地良く工夫されています。		